

ペットと一緒に 旅を楽しむためのヒント

「ペットとのお出かけ」をマスターしたら、いよいよペット連れ旅行にチャレンジ！
旅行を楽しむための準備と心得を、情報サイト「ペット宿ドットコム」を運営する
藤野宇一郎さんに教えていただきました。

文：宮村美帆 イラスト：ヨギトモコ

旅の目的を明確にしよう

ペット同伴旅行をペットにとっても人にとっても快適なものにするためには、まずはどんな旅にしたいのか、旅の目的を考えることから始めましょう。

「ドッグランで思いきり走らせてあげたい」「自然の中をゆっくり散歩したい」などペットを楽しませることを目的とするか、「温泉につかって室内でまったりしたい」「季節の味覚を堪能したい」などゆつくりくつろぐ旅にするのか。旅の目的がはっきりすれば、エリアや宿泊施設のタイプも絞り込めます。

宿泊施設のタイプはいろいろ

ペットと泊まれる宿泊施設には、ペンション、コテージ、旅館、ホテルなどがあり、ペット同伴率100%の宿もあれば、ペット連れ以外の一般客も受け入れている宿もあります。

小規模なペンションはペット同伴専用

予約の際に 宿のルールを確認しよう

のともも多く、ほかの飼い主と交流を深めることもできます。ほかの犬が苦手だったり、多頭飼育の場合は、気兼ねなく過ごせる一棟貸し切りのコテージがおすすめです。

ホテルや旅館は、通常の旅行で泊まり慣れている形態であり、利用したい施設として人気も高いのですが、一般客と一緒にいることも多く、同伴可能エリアに制約がある場合もあります。

「ペットと泊まれる」といっても、自宅のように何でも自由にできるわけではなく、多くの場合は条件や宿泊のルールが設けられています。行ってから「こんなはずじゃなかった」とトラブルにならないために、事前に次のことを確認しておきましょう。

●宿泊できる種類・大きさ

「大型犬や猫は不可」というところもある

りますし、特定の犬種が多い宿や大型犬の飼い主に好まれる宿もあります。たとえば大型犬が苦手な犬であれば、予約前に問い合わせれば遭遇を回避することもできます。

●ペットNGエリアはどこか

客室は同伴が可能でもレストランは不可というのはいくつかあるパターン。レストランには一緒に入れるか、ロビーを歩かせられるか、客室内での制約はあるかなどもしっかりと確認しましょう。

●常備されているアメニティグッズ

ペット用ベッドや食器など常備品を確認しておけば、荷物を減らせます。

●部屋の位置も確認

部屋の前を人が通ると吠えやすい犬の場合、そのフロアの一番奥の部屋にしてもらうなどの対応ができれば、飼い主の気疲れも軽減します。

また、どの宿でもトイレのしつけができていないことが必須条件ですが、環境の変化によるマーキングが心配な場合は、マナーベルトを活用しましょう。

宿泊施設以外の環境も チェック

夕食と朝食は宿で済ませたものの、チェックアウトしたらペット同伴OKの飲食店が見つからずに、結局、昼食は車の中……というケースもまだまだ多いもの。宿泊施設選びの際には、周辺や道中にペットOKの店や施設があるかどうかの情報も収集しておきましょう。

*

どんな場合も、愛犬（猫）が好きなことや苦手なこと、それぞれの性格などをしっかり考慮して計画を立てることが、楽しい旅の実現につながります。



藤野宇一郎さん
株式会社ぐらんぽう代表取締役。
「ペット宿.com」を1999年より運営し、旅の情報を提供。ペット観光関係の促進のために「ペットツーリズム推進協議会」の事務局として、観光行政や他業界と連携しさまざまな取り組みを行っている。



専用ドッグラン付きコテージなら、愛犬もこんな笑顔に！